



# 交通指導(にじ組)



R5. 3. 15(水)



今日は、長崎市道路維持課の方が見えて、交通指導がありました。就学前の虹組のみが参加し、歩行訓練をしました。1年生になり、子どもたちの行動範囲も広がるので、交通ルールや道路標識の意味も、しっかり覚えましょう！子どもたちも、一生懸命に話を聞いていました。



**「ストップマーク」**  
おうだんぼどうのてまえなどにあります。とまって、しっかりあんぜんをかくにんしましょう。



**「おうだんぼどう」**  
ここには、おうだんぼどうがあります。



**「おうだんきんし」**  
ここは、あぶないので、わたりません。



**「ガードレール」**  
ガードレールを、またいだり、くぐったりして、とおってはいけません。

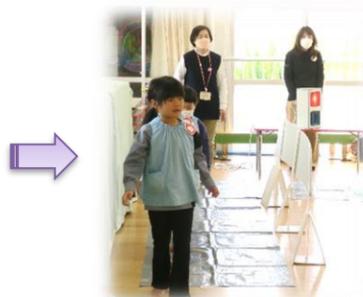


**ここが、スタート！**  
まずは、ストップマークで止まって・・・、「右をみて、左をみてもう一度、右をみて」確認します。

横断歩道から一步下がって、止まりましょう。車道に近すぎると、危ないです。

**ここは、信号がある横断歩道。**  
「青信号」になっても、必ず手をあげて「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」自分の目で確認します。渡っている途中で青信号が、チカチカになった時は、走らないで「急ぎ足(早歩き)」で渡りましょう。

**「信号のない横断歩道」では…**  
横断歩道を渡る前には、①車の方を見て、右手を挙げて、車が止まってくれることを待ちます。車が止まってくれたことを確認したら、まっすぐ右手をあげたまま、右・左・右をみて、安全を確認して渡ります。



**狭い道は、広がって歩かず、一列に並んで歩きましょう。どなたか、お会いした時は、元気に挨拶しましょう。**

**ふみきりをわたるときの、べんきょうもしました。**



ここは**電車が通る踏切**です。遮断機が上がっても、「右をみて、左をみて、もう一度右をみて」そして、「電車が来ていないか、音をよく聞いて」渡りましょう。

踏切を通る時は、横断歩道を渡る時のように、手を上げる必要はありません。(左右の確認は必要です)



ぼくのなまえは、「まもるんだ」だよ。



交通指導の方のアドバイスで「横断歩道を渡る時、手がまっすぐあがっていない子がいます。子どもは、どうしても背が低くて車からは見えにくいので、手をまっすぐあげて横断歩道を渡ることが大切です」ということを教えてもらいました。交通指導終了後、「修了証(カード)」などをいただきました。「『みる』『まつ』『とまる』まもるんだ」の合言葉を忘れず、自分で自分の命をしっかり守るための約束の一つ「交通ルール」をしっかり守りましょう！！

雨の日や荷物が多い日などさまざまな日があります。1年生になる前に、一度お家の大人の人と「通学路を歩いてみる」ことも大切だそうです。ぜひ、お子さんと通学路と一緒に歩いて、交通ルールのことも含めて確認をしてみてくださいね

